

### 3 事前対応

#### (1) 防災教育等

##### ① 園児の安全能力の育成

日常保育の中で、命の大切さに気づかせるとともに、地震や津波の恐ろしさを教え、園児が安全に避難することができる態度や能力を育てることが重要です。

そのためには、保育者等が日頃から防災の視点を持って保育を行うとともに、園児自身が自分の命を守るための行動の仕方が分かるように、避難訓練を繰り返し行い体験させることが大切です。

##### 〔防災教育（例）〕

○目標	『災害発生時、自分で自分の命をまもろうとする。』（幼児）
○内容	いろいろな教材や映像を活用して、生活の中で起こる地震や津波の場面をイメージする。 ① 紙芝居や人形劇、絵本等から ② 視聴覚教材から ③ 日常の会話から など
○教材例	あそぼうさいカルタ 防災ダック ぼくらがまもる（歌）

資料9～11ページに  
入手先等を掲載して  
います。

##### ② 保育者等の災害対応能力の向上

保育者等は、地震・津波から園児の生命を守り、被害を最小限に食い止めるためには、防災に対する高い知識をもち、実践的な訓練や研修などにより、自らの対応力や防災教育に関する指導力を高めることが必要です。

- マニュアルに基づく、地震・津波などに対応した防災避難訓練
- AEDを含む心肺蘇生法などの応急手当に関する研修
- 園児の安全能力育成のための保育・教育内容、教材等に関する共通理解
- 園児等の心のケアに関する研修
- 防災に関する研修会等への参加
- 新聞や災害関連ホームページ等から最新の情報を収集し、訓練等に活かす

##### ワンポイント

状況に応じた的確な判断のもと、保育者等が落ち着いた行動をすることは、園児に安心感を与え、安全な避難につながります。



### ③ 保護者の防災意識の向上と連携

地震・津波発生時に園児を安全に避難させ、保護者に引き渡すためには、保護者にも高い防災意識をもってもらうことが大切です。避難場所や避難方法、保護者への連絡・引き渡し方法など、各園と保護者が共通認識をしておくことが重要です。

そのためには、日頃から次のような取組が考えられます。

- 参観日や懇談会等で防災に関する研修を行う。
- 保護者とともに避難訓練を行い、避難経路等を確認する。
- 避難場所、引き渡し方法を周知する。
- 保護者とともに通園路の危険箇所を確認する。
- 防災マニュアルの内容を保護者に周知する。
- 各園の防災の取組等を「園から親・子から親」へと発信する。

#### 東日本大震災から・・・

東日本大震災では、保護者等に引き渡した園児が、その後、津波の犠牲となった事例があります。安全確認ができない場合には、災害の状況や津波等に関する最新の情報を保護者に伝え、園児とともに保護者も一緒に避難してもらうことが必要です。

#### ◆ 緊急時連絡・引き渡しカードの作成〈38ページ参照〉

- 緊急時の連絡先については、複数の者、複数の連絡方法等を確認し、園児を確実に保護者等に引き渡すため、引き渡しカードを作成しておきましょう。
- 引き渡しカードは、毎年内容を確認(変更のある場合はその都度)しましょう。
- 保育者等は、使用方法について共通理解をしておくことが必要です。

#### ◆ 引き渡し方法の確認〈37、38ページ参照〉

地震・津波発生時の緊迫した状況で保護者等の対応に追われれば、それだけ園児を守るための貴重な時間がなくなります。混乱を防ぎ迅速な避難を行うためにも、あらかじめ避難場所(複数)や引き渡し方法を決めておき、園便りや懇談会等を通じて保護者に繰り返し周知し、理解を得ておくことが重要です。

また、園児を安全確実に保護者等に引き渡すためにも、引き渡し方法については、引き渡しカードをもとに保護者と事前に確認をし、保護者と園が共通理解しておくことが必要です。

#### ワンポイント

保護者によっては、被災状況や職務、交通事情等により、園児の引き取りが数日後となることも想定しておきましょう。



## (2) 避難訓練

### ① 安全計画

#### 〔安全計画（地震・津波対応）例〕

月	安全管理	安全に関する組織活動 (研修を含む)	防災教育
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災組織体制の確立</li> <li>・安全点検表の作成及び点検</li> <li>・スクールバス運行ルート の危険箇所及び避難場所の 確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発</li> <li>・緊急連絡・引き渡しカード の作成及び保護者と内容 についての確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> <li>・絵本の読み 聞かせ</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・園外保育・遠足等の目的地 の实地踏査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発</li> <li>・地域の防災組織と連携し た避難経路等の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> <li>・「ぼくらがま もる」(歌)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・消防署の指導による保育者 等の通報訓練、初期消火訓練</li> <li>・プール、水遊び遊具、用具の 安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがの処置や心肺蘇生法 (AED含む)の研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練 (消防署から の指導)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡票・引き渡しカー ドを使っての連絡及び引 き渡し訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練 (保護者参加)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した避難訓練 (保護者参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携 した避難訓 練 (保護者参加)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・園外保育・遠足等の目的地 及び周辺の实地踏査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の指導(起震車での 地震体験等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> <li>・起震車で地 震の揺れを 体験する</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・保育者等の消火訓練(消防 署の指導)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・津波発生時の避難場 所、連絡方法を保護者と再 確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> <li>・「あそぼうさ いカルタ」で 遊ぼう</li> </ul>
2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・1年間の安全点検の評価・ 反省</li> <li>・次年度の防災組織等の再編 成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会、園便り等での保 護者の防災意識の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練</li> </ul>

※上記以外に生活安全、交通安全等についての安全計画を加え、年間安全計画を作成してください。

## ② 避難訓練年間計画

地震・津波発生時に備え、園児が安全に避難できるように避難訓練を実施し、基本的な能力を身につけさせることが必要です。

そのために、避難訓練年間計画を作成し、保育者等の共通理解のもと避難訓練を行うことが重要です。

年間計画の作成にあたっては、以下の点に留意しましょう。

- 年間を通して指導計画の中に位置づける。
- いろいろな場面を想定し、安全に避難できる態度や能力を身につけられるよう、実践的な訓練を計画する。
- 全保育者等で計画の内容や役割分担等について協議し、確認する。
- 保護者や地域と連携した訓練を計画する。

※次ページ以降の避難訓練年間計画（例）については、地震・津波を想定したものを例示しています。各園においては、火災や不審者対応等も含めた年間計画を作成してください。

〔避難訓練年間計画（例）〕

月 日	4月20日	5月20日	6月19日
訓練時間	室内でクラス全体で活動中 9:30	室内でクラス全体で活動中 10:00	クラス全体で活動中 10:30
想定	火災	地震・津波	火災
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常ベルや保育者等の声等の合図で避難しなければならぬことを知る。</li> <li>・保育者等の指示に従い、皆と一緒に行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生時の避難の仕方を知る。</li> <li>・保育者等の指示に従って防災頭巾を被り、皆と一緒に行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者等の指示に従って避難する。</li> <li>・消防署の指導による訓練を行う。</li> </ul>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めなので、各クラスの状態に応じて非常ベル等の合図で避難することを知らせておく。</li> <li>・非常ベルの音を聞いて泣き出す子もいるので、声をかけるなど、安心感をもたせる。</li> <li>・園内放送に注意を向け、静かに聞くようにさせる。</li> <li>・ハンカチや手、服等で口を押さえ、避難することを知らせる。</li> <li>・あわてて飛び出したり、押ししたり、かけ出したりしないで、保育者等の指示を注意して聞くように指導する。</li> </ul> <p>★頭を防災頭巾等で保護し、上履きや靴を履かせ避難させる。</p> <p>★非常時持ち出し袋を持参し、避難場所に誘導する。</p> <p>★人員確認をし、けが人等の有無を所長・園長等に報告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて行う地震発生時の避難訓練なので、避難方法を知らせておく。</li> <li>・揺れがおさまるのを待って避難させる。</li> <li>・園内放送に注意を向け、静かに聞くようにさせる。</li> <li>・保育者等の誘導・援助で園庭から避難場所や高台等へ避難させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常ベルが鳴ったら保育者等が素早く的確な指示を出し、落ちついて行動できるようにさせる。</li> <li>・保育者等は消防署の指導による通報訓練、初期消火訓練を行う。</li> </ul>

月 日	7月21日	8月20日	9月1日	9月20日	10月19日
訓練時間	クラスで散歩中 9:30	プール・水遊び中 10:30	地域と連携した 避難訓練 10:00	園児が個々に活動中 9:30	園児が個々に活動中 15:00
想 定	地震・津波	地震	地震・津波	地震・津波	地震・津波・水害
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩中の避難の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プールで水遊び中の避難の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災訓練に参加し、地域の人とともに安全な場所へ避難する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園庭で遊んでいるときの避難の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害の恐ろしさを知る。</li> <li>安全な場所へ避難することを知る。</li> <li>起震車で地震の揺れを体験する。</li> </ul>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外での避難訓練なので、不安感をもたせないように声かけをしながら誘導する。</li> <li>園外での訓練のため、交通安全に留意する。</li> <li>人数確認を迅速に行う。</li> <li>★非常時持ち出し袋を持参し、避難場所に誘導する。</li> <li>★人員確認をし、けが人等の有無を所長・園長等に報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児を水の中から出し、安全を確保する。</li> <li>バスタオルや毛布等で身体の保温を行い、避難させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者等や地域の人々の誘導・援助で園庭等から避難場所や高台等へ避難させる。</li> <li>保護者に参加を呼びかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者等の近くにいる園児を素早く集め、頭を保護させ、その場にしませる。</li> <li>保育者等の指示を注意深く聞き、慌てず落ち着いて避難させる。</li> </ul> <p>★頭を防災頭巾等で保護し、上履きや靴を履かせ避難させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨や台風、また津波等の水害の危険があるときの避難について知らせる。</li> <li>指定避難場所や高台へ避難を行う際の保育者等の役割について確認しておく。</li> <li>年長児と保育者は、起震車で地震の揺れを体験する。</li> </ul>

月 日	1 1 月 2 1 日	1 2 月 2 0 日	1 月 2 0 日	2 月 1 9 日	3 月 1 0 日
訓練時間	昼寝中 1 3 : 3 0 地震・火災	預かり保育中 延長保育中 1 7 : 3 0 地震・津波	園児が個々に活動中 1 5 : 0 0 地震・火災	園児が個々に活動中 9 : 3 0 地震・津波	園児が個々に活動中 1 0 : 0 0 地震・津波
想 定 内 容	・昼寝中の避難の仕方を知る。	・異年齢、少人数での保育時の避難の仕方を知る。	・室内で各自が遊んでいるときの避難の仕方を知る。	・室内や園庭で各自が遊んでいるときの避難の仕方を知る。	・室内や園庭で各自が遊んでいるときの避難の仕方を知る。
留 意 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室の中央に園児を集め、布団や毛布で頭や身体を保護させる。</li> <li>・昼寝中に起こされ、機嫌が悪くなる園児もいるため、声をかけ、安心感をもたせる。</li> <li>・保育者等の誘導や援助で園庭へ避難させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の状態に応じて対応し、速やかに避難させる。</li> <li>・少人数の保育者等で対応するため、役割分担を確認しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの保育者等そばに集め、指示を静かに聞かせる。</li> <li>・避難時の約束を守って行動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの保育者等そばに集め、指示を静かに聞かせる。</li> <li>・避難時の約束を守って行動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練に慣れてきたこととで、ふざけたり、しゃべったりすることのないよう指導する。</li> <li>・指示を最後まで聞き、保育者等の指示に従って行動させる。</li> <li>・避難訓練の大切さを再確認させる。</li> </ul>



### ③ 避難訓練の充実

地震・津波等が起きたとき、どのように行動して危険から回避すればよいか、いろいろな場面を想定し、繰り返し避難訓練をすることが大切です。

多くの乳幼児を安全かつ迅速に避難させるためには、保育者等だけでは対応しきれない場合も考えられます。特に津波の危険性のある地域では、避難は一分一秒を争うため、近隣の学校や地域住民の協力が欠かせません。

そのため、学校や地域の防災訓練に参加したり、逆に各園の避難訓練に参加をお願いしたりするなど、日頃から学校や地域との関係づくりをしておくことや避難協力の協定を結んでおくことが必要です。

また、避難訓練を参観日に行い、保護者に実際どのように避難しているのかを聞いてもらい意見を聞くなど、互いの認識を深めることも大切になります。

この他、消防機関等や自主防災組織と連携した実地訓練なども行い、避難訓練の充実を図ることが必要です。

### ④ 避難訓練や防災マニュアルの改善

避難訓練実施後は、計画・想定していたことと比べどうだったか、実際に行い分かった課題や問題点等を把握したうえで評価・改善を行い、次の避難訓練に活かすことが重要です。また、その内容によっては防災マニュアルの見直しも行うことが必要です。

避難訓練や防災マニュアルの見直し・改善にあたっては、「**計画 (PLAN) ⇒ 実践 (DO) ⇒ 評価 (CHECK) ⇒ 改善 (ACTION)**」のサイクル (PDCAサイクル) を繰り返し行うことが大切です。

#### 〔避難訓練実施記録様式 (例)〕

年月日	災害別	所要時間	園児の様子	保育者等の動き	改善点
H24. 4. 20	地震 火災				
H24. 5. 20	地震 津波				
H24. 6. 19	地震 火災				
H24. 7. 21	地震 津波				



### (3) 防災マップの作成

園児を安全かつ迅速に避難させるためには、園内避難経路図や近隣の防災マップを作成し、保育者等が共通理解しておくことが重要です。

防災マップを作成するにあたっては、園で利用している地図や県・市町村が作成している被害想定図や防災マップ等を活用しながら、園独自の防災マップを作成することが必要です。

また、防災マップを作成する過程において、保育者等がお互いに自分ならどう行動するか、どう避難するか等を話し合うことで、防災意識や防災対応能力の向上にもつながります。

園児の生命を守ることを第一に、各園の実態に応じて必要と思われることを話し合い、マップに記入し、園内避難経路図や防災マップを完成させましょう。

#### ワンポイント

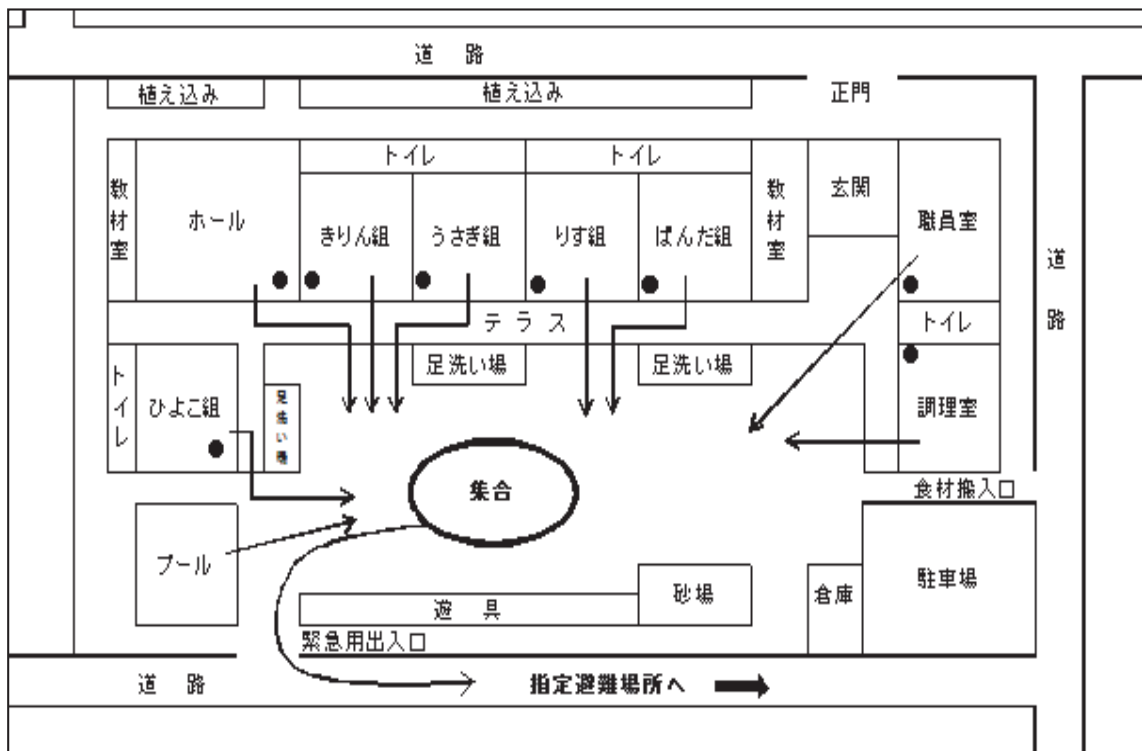
<「防災マップで安全＝絶対大丈夫」ではありません。>

避難時には、防災マップを活用しながらも、地震や津波の情報をもとに、そのときの周辺の状況等に応じた適切な判断と行動をすることが求められます。



#### ① 園内避難経路

〔園内避難経路図（例）〕



●…非常持ち出し品置き場（非常持ち出し品は、すぐに持ち出せる場所に置くようにし、園内避難経路図に図示しておきましょう。）

## ② 近隣の防災マップ

防災マップは、以下の点に留意し作成しましょう。

- 地震、液状化、津波などの被害を想定や周辺の地形、建物・道路等の状況をしっかり把握する。
- 第1次避難場所、第2次避難場所を確認する。  
(その他、近隣で複数の避難場所を確認しておく。)
- 避難経路を把握する。
  - ・がけ崩れ、土砂崩れ、地割れ、液状化現象、火災、水道管やガス管の破裂、津波の襲来等、さまざまな状況を想定し、複数の避難経路を確認しておく。
- 登園降園時の通園路の危険個所を把握する。
- 災害発生時の連絡手段として公衆電話の設置場所を把握する。
- フィールドワークを行い実際に確認し、その他必要と思われることを記号等で書き込む。
- 避難経路は定期的に点検し、安全確認をする。

### 〔通園バス運行ルート〕

運行経路ごとに以下の点に留意し作成しましょう。

- 地震、液状化、津波などの被害を想定する。
- 道路状況や建物の倒壊の危険等について確認する。
- 避難可能な場所を決定する。
- 津波避難ビルの場所や出入口を確認する。

※市町村防災部署や自主防災組織、消防署、専門家等とともに作成するとより効果的です。

### 〔参考〕

#### 津波に関する標識

##### 〈高知県統一標識〉



【津波基本形】



【津波避難（誘導）】



【津波避難場所】



【収容避難所】

##### 〈消防庁統一標識〉



【津波避難ビル】

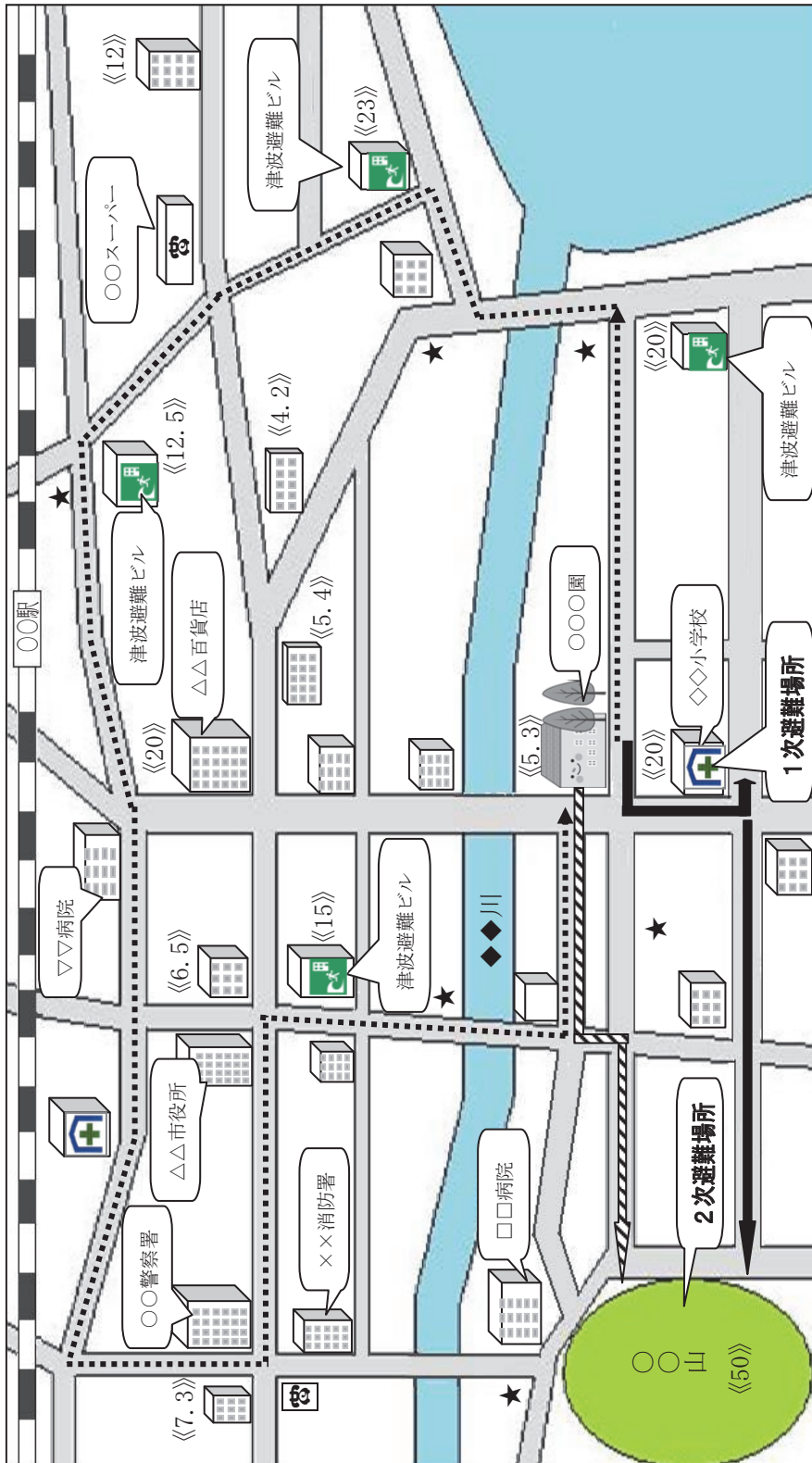


【津波避難場所】

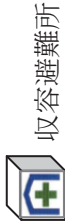


【津波注意】

〔防災（地震・津波対応）マップ（イメージ図）〕



〔記号例〕



収容避難所



津波避難ビル

《6.5》 標高 (m)



公衆電話

★ 危険箇所



通園バス運行経路



避難経路①



避難経路②

(園から避難場所への避難経路)

※通園バス運行経路の防災マップは広域となるため、ルートごとに作成する。

※散歩コースについても記載する。

※避難経路は複数検討し、記載する。

③ 避難先一覧表（例）

	名 称	住 所	電話番号
一時避難場所	〇〇公園		
	〇〇小学校		
	〇〇中学校		
指定避難場所	〇〇小学校		
	〇〇中学校		
	〇〇センター		
	〇〇公民館		

※園外活動時や通園バス運行経路上の避難場所についても記載する。

#### (4) 施設の安全管理

施設の安全点検は、潜在的な危険を未然に防ぎ、二次災害防止のためにも重要です。日常的に安全点検を行うとともに、月ごとに定期的な点検を実施することが必要です。

##### 〔施設・備品の耐震対策チェックリスト（例）〕

各園の実態に応じて点検項目を作成し、安全点検を実施しましょう。



災害予防のための施設点検 [ 月 日 曜日 天気 ]		チェック欄	改善日
職員室・保育室・ホール	天井や壁に取り付けられた空調機は固定しているか。		/
	照明器具は固定しているか。		/
	放送設備（テレビ、スピーカー等）は固定しているか。		/
	掛け時計、掲示物、黒板は落下しないか。		/
	本棚、ロッカーは補助金具等で固定しているか。		/
	ピアノ、オルガン、コピー機は動かないように固定しているか。		/
	棚等の上に重い物や器具は置いていないか。		/
	窓ガラスの飛散防止対策をしているか。		/
廊下・テラス・階段	引き戸、ドアの開閉はスムーズか。		/
	廊下等に避難の妨げとなる物を置いていないか。		/
	下駄箱は固定しているか。		/
	砂や水で滑りやすくなっていないか。		/
	腐食箇所や釘などは出ていないか。		/
	階段の手すりにぐらつきはないか。		/
	照明器具は固定しているか。		/
トイレ	窓ガラスの飛散防止対策をしているか。		/
	滑りやすくなっていないか。		/
	ドアの開閉はスムーズか。		/
園庭	照明器具は固定しているか。		/
	危険物はないか。		/
	溝の蓋は完全に閉めているか。		/
調理室	遊具のぐらつき、腐食はないか。		/
	大型備品（冷蔵庫、食器保管庫等）は固定しているか。		/
	ガスコック、ガス管にひび割れ等の異常はないか。		/
その他	ガスを使用しないときは元栓を閉めているか。		/
	消火器は所定の場所に置いているか。		/
	消火器や火災報知器、煙探知器等について、定期的に検査を受けているか。		/
	園児にとって危険なもの（医薬品、カッター等）を安全な場所に保管しているか。		/
門、外壁等倒壊の危険はないか。		/	

## (5) 備蓄物資と非常持ち出し品

大規模な地震や津波が発生した直後は、食料等の確保は満足にできません。救援活動が受けられるまでの間（一般的には3日程度と言われていますが、状況によっては、さらに遅れる場合も想定されます。）、園児や保育者等の生命や生活を維持するため、食料等を備蓄しておく必要があります。

また、津波の危険性のある地域では、各園だけでなく、避難先やその近くの安全な場所へ備蓄しておくことが必要です。

### ① 備蓄物資（例）

区 分	品 名
食料品	ミネラルウォーター、 粉ミルク、スポーツ飲料、 米・アルファ米、缶詰、乾パン、 あめ、ビスケット、 保存期間が長く火を通さなくても食べられるもの アレルギー対応の簡易食料  等
生活用品	水、毛布、ビニールシート、 非常用保温アルミシート、着替え、ビニール袋、 水筒、哺乳瓶、卓上コンロ（ボンベ）、 スプーン、フォーク、缶切り、ナイフ、ラップ、 おまる、紙おむつ、トイレットペーパー、生理用品、 バケツ、タオル、ウエットティッシュ、マスク、 筆記用具、用紙、ガムテープ、雨具、現金（小銭も）、 マッチ、ライター 等
避難用品	防災頭巾（ヘルメット）、おんぶひも、 拡声器（メガホン）、 軍手、ロープ、ビニール袋、 懐中電灯、ラジオ、乾電池、 関係機関連絡リスト  等
救急医療品	包帯、ガーゼ、止血帯、絆創膏、三角巾、湿布、 タオル、消毒薬、体温計、カット綿、 ゴム手袋 等

※上記リストを参考に、必要な物を備蓄しましょう。

## ② 非常持ち出し品（例）

乳児担当者	幼児担当者	担任以外
出席簿 緊急時連絡・引き渡しカード 防災マップ 哺乳瓶 ミネラルウォーター 着替え（少々） 紙おむつ ビニール袋 タオル ウエットティッシュ おんぶひも 筆記用具 笛 等	出席簿 緊急時連絡・引き渡しカード 防災マップ 着替え（少々） ビニール袋 ウエットティッシュ ティッシュペーパー タオル あめ ロープ 筆記用具 笛 等	園児名簿 全家庭緊急時連絡・引き渡しカード 防災マップ 防災関係機関連絡先一覧 筆記用具 ティッシュペーパー タオル ビニール袋 現金（小銭） 救急用品 ラジオ 携帯電話充電器 笛 等

※リュックサックや斜め掛けバッグ等に常備し、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

※乳児担当者の持ち出し品が多くなる場合も想定されるので、持ち出し品を準備する際、量を確認して持ち出す担当者を決めておきましょう。

※上記を参考に各園で必要な物を準備してください。